



INTERVIEW

各自治連合会会長インタビュー

各地区の特徴や主な取り組み・課題を各連合会会長に伺いました。

吉川市全体について

吉川市はいろいろな顔がありますよね！地域により人口の増減差があるところ、子どもが多いところ、元気な高齢者が多いところ、駅前周辺にコンパクトに住宅が広がったエリアと田園風景、伝統的な八坂祭りやJAZZ Nightのような新たな催し、といったように「新と旧」が混在するのは珍しく、まさに「日本の縮図」のまちだと感じます。また、私のように他市出身の住民が自治会や連合会といった組織の長を任せていただけたというのも、受け入れてくれる温かさを強く感じます。

吉川は、新と旧がソフトに調和したまちですね



市自治連合会会長
美南地区自治連合会会長
石井 亮英さん

美南地区自治連合会

私の住む美南地区は、連合会発足3年。4自治会で構成され、夏休み子ども向けイベントやGB会(おじいちゃん、おばあちゃんの交流の場、なまらん体操等)、美南祭など、合同で事業を行ってきました。1番の特徴は、4自治会のエリアで約1万人が居住し、ひとたびイベントの回覧をすれば1,000人から3,000人が集まります。一方、安全確保や公平性を優先すると多くの時間を要し、取捨選択と決断を迫られるのが1番の悩みです。

子育て世代が多い特色を生かし、つながりをもっと強くできるようにしていきたいですね。

吉川中央自治連合会

吉川中央地区は全地区最多の29自治会、8,500を超える会員世帯数があるエリアです。特に吉川団地には市内最多の約1,900世帯が居住しています。

農家や伝統の八坂祭りを行う地区など昔からの街並みと、きよみ野や吉川中央土地区画整理地内など新しく開発された地区もあり、会社勤めをする会長も多く、新旧住民が混在する特徴のエリアですが、皆さんとても協力的で助かっています。

人と関わる機会を作ることを大切にしています



吉川中央自治連合会会長
高橋 健太郎さん

旭自治連合会会長
高崎 康男さん

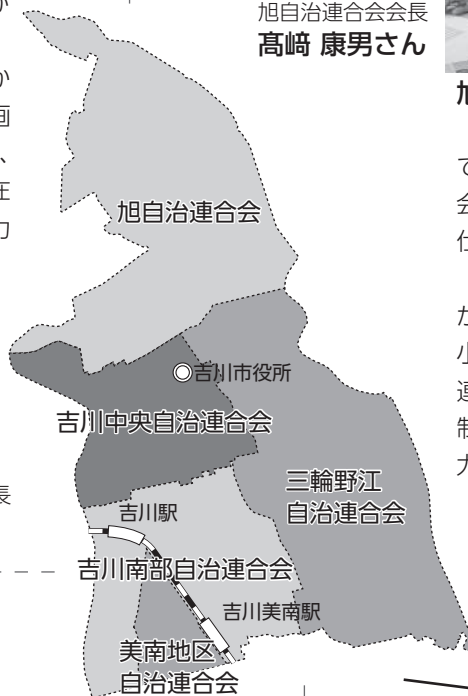


日頃から顔の見える関係を築くこと。これがカギですね！

旭自治連合会

旭自治連合会は17自治会で構成されています。毎月、全会長が出席する「定例会」を開催し、新任会長を皆で支援する仕組みもあります。

また、入学式や卒業式に自治会代表者が必ず参加するようにしたり、企業にも小まめに訪問し声を聞くなど、地域との連携を大切にしています。日頃の協力体制や顔の見える関係の構築こそが、地域力の高まりには大事ですからね！



吉川南部自治連合会

吉川南部自治連合会は21自治会、会員は約7,300人を抱えるエリアで、吉川駅周辺も南部となります。小中学校も多くあり、子どもたちの見守りや夏休みには寺子屋事業、また地域サロンやシニアの集いなど特色ある事業を行う自治会がたくさんあります。

今年度からは「会長会」を作り、会長同士の横の連携をさらに密にし、情報交換や交流行事も協力して行っています。

横の連携をより密にし各自治会活動に活かしています



吉川南部自治連合会会長
金子 稔也さん

小規模だからこそ地域密着度はピカイチです！



三輪野江自治連合会会長
荒井 清さん

三輪野江自治連合会

三輪野江自治連合会は、24自治会がさらに7支部に分かれ活動しています。20から120世帯と小規模な会員世帯数の自治会が多いですが、地区全体の面積は広大です。号令をかけると皆さん積極的に協力していただき、コミュニケーションが円滑に図れている地区です。例えば、なまらん体操に近隣自治会の方の参加もあるなど「地域間のつながり」がとても密接な地区です。